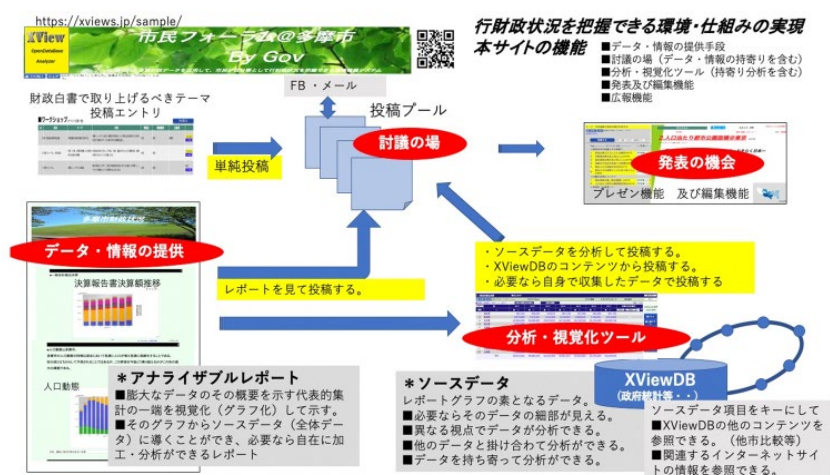


## 公開された各種財政データの XView による行財政状況の把握とこの活用による市民とともに作る財政白書

応募チーム名：市民のミカタ&CodeForTama 自治体：東京都多摩市

(特徴) 一般市民が市の行財政状況をわかりやすく把握する環境(仕組み)として、市のオープンデータから「データ、情報」を提供するとともに、「これを視覚化し、統計分析などをするツール」を提供する。あわせて「コミュニケーションの場、機会」を三位一体で提供する。この EBPM の基盤をもとに、市民協働で「財政白書」を作るという活動を進め、市民の参加と合意形成に寄与するプロジェクトである。



(アドバイス)

### 1. 市からわかりやすく提供される財政情報の作成と提供の研究会開催

このプロジェクトが持続するためには、市からわかりやすく提供される財政情報が不可欠です。そのためにはまず、市役所内で、資料の作成が必要ですが、その作業に結構手間ひまを要すると聞いています。このため、デジタル時代に即したデータの収集と統一フォーマットでの記載、庁内での共有、そのオープンデータ化の一連の作業の簡素化標準化に取り組む研究会を市役所で開催されては如何でしょうか。その際、専門知識を持った地域市民と協働していくことも COG の進め方の一つだと思います。

### 2. 政府が進める「共通語彙基盤」のとの連携

他方で、以上と一部表裏一体ですが、官民の組織がオープンデータを活用し、分野を超えた情報交換を行うには、単語ごとに表記・意味・データ構造の統一を行い、互いに意味が通じるようにする必要があります。そのための仕組みとして、政府が進める「共通語彙基盤」のとの連携も図っていかれることをお勧めします。これが進めば、多摩市と他の自治体との政策比較も格段と容易になると考えます。

### 3. 類似システムとの比較における優位性や特徴の明示

他にも類似のシステムやアプリがあり得ますので、それとの比較における優位性や特徴あるいは連携も視野に入れておかれるとよいと思います。

### 4. 多様な場における披露と利用の模索

民主主義の観点では多摩市内で実際に市民が財政状況を見ることが有益だと思いますので、可能であれば多摩市若者会議での披露など多様な場を活用したワークショップの実施もよいと思います。